訪問看護ステーションれんと 運営規程

(事業の目的)

第1条 株式会社 Ren が開設する訪問看護ステーションれんと（以下「ステーション」という。）が行う訪問看護及び介護予防訪問看護の事業（以下「事業」という。）は、ステーションの看護師等が、要介護状態又は要支援状態、また主治医が指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の必要を認めた者に対し、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指すことにより、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とする。

(事業の運営方針)

第2条 ステーションの看護師等は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活動作の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養ができるように支援する。

2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービス提供に努めるものとする。

(事業所の名称及び所在地)

第3条 この事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 1 名称 訪問看護ステーションれんと
所在地 糸島市志摩師吉5番地10
- 2 名称 訪問看護ステーションれんと 西福岡（サテライト事務所）
所在地 福岡市西区福重5丁目22-39-102

(従業者の職種、員数及び職務の内容)

第4条 ステーションに勤務する従業者の職種、員数及び職務の内容は、次のとおりとする。

- 1 管理者 看護師 1名
管理者は、ステーションの従業者の管理、指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の利用の申込みに係る調整、主治医との連携・調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行う。
- 2 看護師等 看護師 4名
(常勤職員4名(うち2名役員)、管理者と訪問看護師を兼務)
言語聴覚士 1名(常勤職員1名)
看護師等(准看護師は除く。)は、訪問看護計画書及び介護予防訪問看護計画書、報告書を作成し、利用者又はその家族に説明する。看護師等は、指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 ステーションの営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- 1 営業日：月曜日から土曜日(午前)までとする。
ただし、祝日及び8月13日から15日、12月29日から1月3日までを除く。
- 2 営業時間：月～金曜日午前9時から午後6時、土曜日は午前9時から午後1時までとする。
- 3 訪問看護サービス提供対応日：年中全て対応する。
- 4 訪問看護サービス提供対応時間：24時間全て対応する。
- 5 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の内容)

第6条 指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の内容は、次のとおりとする。

- 1 病状・障害の観察
- 2 清拭・洗髪等による清潔の保持
- 3 療養上の世話
- 4 褥創の予防・処置
- 5 リハビリテーション
- 6 認知症患者の看護
- 7 療養生活や介護方法の指導
- 8 カテーテル等の管理
- 9 その他医師の指示による医療処置

(利用料等)

第7条 指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料の額は、別表のとおり厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護が法定受領サービスであるときは、その1割の額とする。ただし、介護保険法第49条の2に規定する要介護被保険者及び第59条の2に規定する居宅要支援被保険者は、その2割の額とする。また、介護保険法第49条の2第2項に規定する要介護被保険者及び第59条の2第2項に規定する居宅要支援被保険者は、その3割の額とする。なお、健康保険の場合は、診療報酬の額による。

2 次条の通常の事業の実施地域を越えて行う指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護に要した交通費は、その実費を徴収する。なお、自動車を使用した場合の交通費は、次の額を徴収する。

- ① 実施地域以外から片道10キロメートル未満、糸島市内無料
- ② 実施地域以外から片道10キロメートル以上 500円/日(要相談)
- ③ 死後の処置料は、15,000円とする。

- ④ ①②の費用の支払を受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払に同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

（通常の事業の実施地域）

第8条 通常の事業の実施地域は、糸島市、福岡市(西区、早良区、城南区)の区域とする。

（緊急時等における対応方法）

第9条 看護師等は、訪問看護及び介護予防訪問看護を実施中に、利用者に病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、必要に応じて応急の手当を行うとともに、速やかに主治医に連絡し、適切な処置を行うこととする。主治医への連絡が困難な場合は、救急搬送等の必要な処置を講ずるものとする。

- ① 看護職員は、前項について、しかるべき処置をした場合は、速やかに管理者及び主治医に報告しなければならない。
- ② 急変、医療事故等に際して、状況や行った処置について、詳細に記録するとともに、予防や原因を解明し、再発防止対策を講じるものとする。
- ③ 緊急時訪問看護加算算定に関して
  - 1) 利用者または、その家族等に対し説明をした上で、同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。
  - 2) 電話等により看護に関する意見求められた場合に24時間常時、看護師が対応できる体制を講じる。
  - 3) 看護職員の負担軽減に資する業務管理体制とし、夜間対応した翌日の勤務は午前半休または休日とする。夜間対応に係る勤務の連続回数は2回までとする。タブレットでの記録入力とし、必要時管理者へ電話等による連絡及び相談できる支援体制を確保する。

（虐待防止に関する事項）

第10条 ステーションは、利用者の人権の擁護・虐待等の防止のため次の措置を講ずるものとする。

- 1 虐待を防止するための看護職員等に対する研修の実施
- 2 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
- 3 その他虐待防止のために必要な措置
- 4 ステーションは指定訪問看護の提供中に、看護職員等又は養護者（利用者の家族等、利用者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを関係機関、市町村に通報するものとする。
- 5 高齢者虐待防止のための指針については、別途参照とし記載内容に準ずる。
- 6 高齢者虐待防止の担当者は、松下 泰とする。

(ハラスメント行為の禁止)

第 11 条

ステーションの役員および職員、利用者、その家族等は、以下のハラスメント行為の一切を禁止する。

- 1 脅迫、名誉棄損、侮蔑、ひどい暴言など「精神的な攻撃」
- 2 暴行、傷害など「身体的な攻撃」
- 3 業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害など「過大な要求」
- 4 隔離、仲間外し、無視など「人間関係からの切り離し」
- 5 業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じる、仕事を与えない等「過小な要求」
- 6 私的なことに過度に立ち入るなど「個の侵害」
- 7 「セクシャルハラスメント」に関する言動
- 8 「マタニティハラスメント」に関する言動
- 9 その他社会通念上ハラスメント行為と認められるもの

(その他運営に関する重要事項)

第 11 条 ステーションは、看護師等の資質向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。

- 1 採用時研修 採用後 2 ヶ月以内
継続研修 年 2 回(接遇、虐待防止、感染対策、症例検討等)
- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨に従業者との雇用契約の内容とする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、株式会社 Ren とステーションの管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成 29 年 2 月 1 日から施行する。

平成 29 年 7 月 1 日一部改訂

平成 30 年 1 月 1 日一部改訂

令和元年 6 月 1 日一部改訂

令和 3 年 9 月 15 日一部改訂

令和 4 年 7 月 15 日一部改訂

令和 6 年 3 月 1 日一部改訂